

動物の体の共通点と相違点(1)

名前

1 次の文章は動物の分類について説明したものである。() に当てはまる言葉を書くか、○で囲みなさい。

- (1) ヒトやヘビなど、背骨がある動物を (**脊椎動物** ・ 無脊椎動物) という。
- (2) ザリガニやイカなど、背骨がない動物を (脊椎動物 ・ **無脊椎動物**) という。
- (3) (**脊椎動物** ・ 無脊椎動物) は、その特徴によって、魚類、両生類、は虫類、鳥類、哺乳類の五つのなかまに分類される。
- (4) ヒトやネコなどは、母親の子宮内で栄養や酸素を与えられてある程度育った子をうむ。このような生まれ方を (**胎生** ・ 卵生) という。
- (5) フナ、カエル、トカゲ、ハトなどは、卵をうみ、子は卵からかえる。このような生まれ方を (胎生 ・ **卵生**) という。
- (6) フナやメダカのように、ひれがあり、えらで呼吸する脊椎動物を (**魚**) 類という。
- (7) イモリやカエルのように、幼生のときにはえらと皮膚、成体のときには肺と皮膚で呼吸する脊椎動物を (**両生**) 類という。
- (8) ウサギやキツネのように、子に乳を与えて育てる脊椎動物を (**哺乳**) 類という。
- (9) カメやトカゲのように、肺で呼吸し、柔らかい殻のある卵をうみ、からだの表面がかたいこうらやうろこでおおわれる脊椎動物を (**は虫**) 類という。
- (10) カルガモやハトのように、肺で呼吸し、くちばしや翼があり、かたい殻のある卵をうみ、からだの表面が羽毛でおおわれる脊椎動物を (**鳥**) 類という。
- (11) バッタやザリガニなどのからだをおおう、丈夫な殻のようなつくりを (**外骨格** 外とう膜) という。(**外骨格** 外とう膜) は、体を支え、体内を保護するはたらきをしている。
- (12) バッタやザリガニなどのように、(**外骨格** ・ 外とう膜) でおおわれ、からだやあしが多くの節に分かれている動物のなかまを (軟体動物 ・ **節足動物**) という。
- (13) 節足動物のうち、バッタやカブトムシなど、からだだが、頭部、胸部、腹部に分かれ、胸部に3対のあしと、ふつう2対のはねがあるなかまを (**昆虫類** ・ 甲殻類) といい、ザリガニ、エビ、カニなどのなかまを (昆虫類 ・ **甲殻類**) という。
- (14) 昆虫類と甲殻類のほかに、クモ・サソリ類に分類されるクモのなかまや、多足類に分類されるムカデのなかまも (軟体動物 ・ **節足動物**) である。
- (15) イカやアサリなどのように骨格がなく、内臓が (外骨格 ・ **外とう膜**) でおおわれている動物のなかまを (軟体動物 ・ **節足動物**) という。
- (16) 節のあるあしや外とう膜をもたないミミズやクラゲなども (脊椎動物 ・ **無脊椎動物**) である。